

名士と山水

東西洋の山川觀(中)

黒田清輝君談

▲遊覽船の快樂 夫から又佛蘭西の文人でモーパッサンと云ふ人の書いた書物を讀みました、是も中々面白い、ヨットに乗ツて地中海の島巡をした記事です、日本では畫家や文章家の力で一艘の船を所有もつツて乗廻すと云ふことは生活の程度が違ふので容易に出來ない様であります、遣り方に依てはそんなに金の費る者ではなからうと思ふのです、此間の貴紙上で拜見した某海軍中佐の談話中にも見えました如く一家族を拉て船の一室を占領して、瀬戸内海でも航行したら眞に愉快であらうと思ふ所が今日本にはヨットの設備がないから勢ひ大荷足位の船で日歸する位の島巡りは出來るが、夫れ以上のことは冒險的になる慰みの中に多少危険の伴ふのは愉快ですが、初から冒險的の仕事では慰にはなりませんからな、

▲北海道と歐米 私は御存知の通り九州の端はてに生まれたのですが、郷里から東京とうきょうに來るときは尙だ幼少こどもの時分でしたから九州の山水は能く記憶しませぬが、北の方は北海道にも行きました、北海道の樹木地形は餘程歐羅巴に似て居る、我々畫家が北海道の天然の儘を描寫したならば恐らく歐羅巴で描かいたものだと人は思ふだらう、夫ですから歐羅巴に長く居つた者の眼から見ると氣持が好いのですが、日本に居て折角日本の繪畫を造るに、北海道の眞景を描寫すと如何にも歐羅巴の眞似をした様に見える言ふ迄もなく油繪は材料を歐羅巴から仰ぐのですから……詰り日本で油繪を描くには北海道は歐羅巴で日本の油繪としては不適當だと思ツて歸マツて來ままし

た尤も私の行ツた所は函館から室蘭に上り有珠郡の湖水の邊を見て札幌まで行ツたのですから僅かしきや見て居らない、併し兎に角天然の地形は山に富み噴火山もあつて歐羅巴大陸の平たい所とは趣が違つて居るが樹木の形は能く似て居る、樹名は忘れましたが皮の白い樹木であります、佛蘭西などには巴里の近所にもあるやつで東京には見えない、甞に樹木許りではない草も其の通りで歐羅巴風の牧草が澤山あります、そこで或る人は北海道は宛然まるで阿米利加の田舎の様だと云ふたことがあります、成程長く阿米利加に居ツた人の眼にはさう感ずるかも知れませぬが、私は永く歐羅巴に居ツたものですから北海道は歐羅巴の田舎の様に見えるのです、

▲凡山凡水と道伴みちづれ 其他方々に旅行もしましたが、私は大抵朋友ともだちと一緒に旅行するのが好で一人旅行は遣らない方です詰り人が交らないと面白味を感じない、詰らない場所でも朋友が一緒だと面白いのですな、東京附近では潮來にも行きましたがイヤもう詰らない所です、初は十三橋なんと云ふ名を聽いて大變面白い様に思ツて十四五人伴で船で例の眞菰まごもの中を通り、例の堀割見た様な所に着きつきました、此時までは餘程好い所の様に思ひました、汚穢どろい旅舎じやみた様な家に泊ツて翌日其實景を熟覽みると詰らぬ所で直に引還して仕舞ました、其他筑波山にも登りましたが、唯登ツたと云ふ丈で下りは眞壁の方面に滑り落ちましたが、要するに足ならしと云ふの外はないのです、一体景色など云ふものは天候と季節とに依ツて大變佳い所と思ツた所が左迄にもなく又詰らない所が反ツて案外好く見えたりしますから一概には論ずることが出来ませぬが要するに凡山凡水も道伴次第で詩化するとも出来れば歌題にも上るのです